

タウントーク

あなたの街で

市長と語ろう!



今月は、9月25日に行われた中央区と西区、2つのタウントークをご紹介します。午前中は中央区、午後は西区という忙しい1日となりましたが、集まっていた市民の皆さんと活発な意見交換を行うことができました。

12月のタウントークは清田区で開催します。
タウントークに関するお問い合わせは、区役所(14ページ)の総務企画課か市民の声を聞く課☎211-2042へ。内容は、市長のホームページ <http://www.city.sapporo.jp/city/mayor/>からご覧いただけます。

■男が料理を作る友の会 等西さん

「自分たちの健康を自分たちで守ろう」と活動を始め、最近では男性対象の料理教室も開くまでになりましたが、活動場所が少ないのが悩みです。エルプラザの調理実習室を使おうとすると、女性の使用料は半額なんです。これは、女性を差別化し、男性は料理を作っちゃいけないとも受け取れます。ぜひ、平等にしてもらいたいと思います。



◆市長から

エルプラザは前身の「女性センター」の女性割引制度が引き継がれているのですが、今の意見に女性からの拍手が多かったのが印象的です。なるべく早く平等にしたいと思います。活動場所については統廃合された学校の空き教室の利用などの検討も必要ですね。

中央区民センターでの健康づくりイベント「すくすく・いきいきファミリーフェスタ」と同時に行われたタウントーク。オープニングでオカリナサークル「風の音」が登場すると、市長もポケットに忍ばせた愛用のオカリナを持って舞台上に登場。一緒に「ふるさと」を演奏しました。タウントークでは、仲間づくりや健康に関する有意義な意見がたくさん出され、活発な話し合いとなりました。

■東北地区福祉のまち推進センター 藤田さん

65歳以上の人たちの交流会を行ったり、月1回の子育てサロンを開いたり幅広く活動しています。また、「Eメール受信代行サービス」を行い、道外や海外に住む家族から届いたメールや写真をプリントして、パソコンのない方へ届けています。さらに、パソコンを使った年賀状の宛名書きサービスも行っていて、こちらも好評。お互いに頼んだり頼まれたりできる付き合いを目指しています。



◆市長から

札幌は人口180万人の大都会。「近所付き合い」が希薄になりがちですが、その中で支え合う気風を呼び戻そうという活動は素晴らしいです。メールの受信代行なども良いサービスですね。普段からそうしたつながりを大切にすることで、いろいろなネットワークが育っていくのではないのでしょうか。



■一般参加の市民の方から

9月の台風の時には、区役所の方が倒木の処理などに素早く対応してくれて助かりました。また、最近では市役所・区役所に電話をすると、担当者がまず名乗ってくれます。サービス自体が変わっているんだと、良い印象を受けました。

◆市長から

「良くなった」と声に出して言っただけなのは、職員にとっては大変うれしいことです。地域の方に認めてもらうことでやりがいを感じ、より良い信頼関係が育っていくと思います。ありがとうございます。

中央区民センターでの健康づくりイベント「すくすく・いきいきファミリーフェスタ」と同時に行われたタウントーク。オープニングでオカリナサークル「風の音」が登場すると、市長もポケットに忍ばせた愛用のオカリナを持って舞台上に登場。一緒に「ふるさと」を演奏しました。タウントークでは、仲間づくりや健康に関する有意義な意見がたくさん出され、活発な話し合いとなりました。

中央区民センターでの健康づくりイベント「すくすく・いきいきファミリーフェスタ」と同時に行われたタウントーク。